

コード	103050109
記入日	H26.6.6

課コード	108
課名	まちづくり推進課
課長名	前田 芳朗
担当者	荒木順一郎

# 事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 26 年度
------	----------

評価対象事業名称	バス路線維持費補助事業
----------	-------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 25 年度 ~ 平成 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	1	政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進	款コード	7
施策コード	103	施策名称	しさを支える交通基盤づくり	項コード	1
基本事業コード	10305	基本事業名称	バス交通の充実	目コード	1
事務事業コード	1030501	事務事業名称	地区交通整備事業費	細目コード	881
関連計画	新上五島町交通体系再編計画	法令・条例規則等	長崎県生活バス路線運行対策費補助金交付要綱 新上五島町バス路線維持費補助金交付要綱		

## 計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 町民		(対象指標1)	21,809人 (H25.4.1現在)			
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・不採算のバス路線運行を運行する乗合バス事業者へ運行の維持確保を図るため補助金を交付した。 →青方～奈良尾車庫前 2,039,475円 →有川港カナル～奈良尾車庫前 5,924,182円	① 補助金交付件数	1件	100%	補助金交付件数÷ 補助金申請件数	***** 平成25年度
		(達成率分析)	補助金の申請に対し、事業内容を精査し補助金を交付した。			
		② 補助路線数	2路線	100%	補助路線数÷ 補助対象路線数	***** 平成25年度
		(達成率分析)	単独での維持が困難な2路線に対し助成を行った。			
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・生活バス路線県補助金交付要綱に適用した路線への補助をすることによって、地域住民の生活に必要なバス路線の運行の維持確保を図り、バス路線の公共交通としての健全経営を促進し、地域住民の福祉の確保に資する。	① 交通手段の利便性の向上	-	-	-	***** 平成25年度
		(達成率分析)	生活路線バスの運行を維持することにより、地域住民の日常生活における利便性の向上が図られた。			
		②				
		(達成率分析)				

## 実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		24年度以前	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 件	1	1		1	1				
	② 路線	2	2		2	2				
成果指標	①									
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	8,664	8,664		8,664	8,664				
直接事業費 A	千円	7,964	7,964		7,964	7,964				
人件費 B	千円	700	700		700	700				
内訳	従事職員数	人	0.1	0.1	0.1	0.1				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
C の 財 源 内 訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円								
一般財源	千円	8,664	8,664		8,664	8,664				

**評価 ( CHECK )**

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	理由	路線バス運行事業者の経営健全化を図り運行存続のために必要である。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	補助の申請があった路線に国、県及び町で補助金を交付しているため効果はある。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	事業を継続することによって成果を向上させる。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	理由	住民の利便性の確保が図られている。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		● 代えられる ● 代えられない	理由	事業費及び人件費は適切である。	

**改善 ( ACTION )**

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	*****平成25年度新規事業*****
	今後、課題に向けた改善策	国・県の補助要綱にて適合した路線申請を検討する。

2次評価	マイカーの普及に伴い、乗合バス事業者は利用者の減少で厳しい経営環境にあるが、一方では、公共交通機関の使命を果たす役割がある。高齢者や学生など交通弱者の生活路線を確保するためには、町の財政的支援が必要不可欠なため、今後も引き続き事業を継続して公共交通機関の維持及び地域の振興を図ること。
------	--

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td>このまま事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業内容を見直して事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業費を見直して事業を継続</td> </tr> </table>	1次	2次	3次		●	●		このまま事業を継続				事業内容を見直して事業を継続				事業費を見直して事業を継続	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>類似事業と整理統合</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の休止</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の廃止</td> </tr> </table>	1次	2次	3次					類似事業と整理統合				事業の休止				事業の廃止
	1次	2次	3次																															
	●	●		このまま事業を継続																														
				事業内容を見直して事業を継続																														
			事業費を見直して事業を継続																															
1次	2次	3次																																
			類似事業と整理統合																															
			事業の休止																															
			事業の廃止																															

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。